

# 高大連携通信

発行 兵庫県立神戸高等学校総合理学委員会  
第3号 平成16年(2004年) 6月7日(月)

## 神戸大学 高大連携特別講義受講届け締切は6月11日です

今年度は、人文科学通論(文系)、自然科学通論(理系)の2つが実施されます!

昨年1昨年(2002年度)から始まった、神戸大学との高大連携特別講義は、昨年度までと実施形態が大きく変わります。昨年まで行われていた「高大連携講義」は、連携講義試行として、神戸高校生だけを対象におこなわれていました。本年度からは全県の高校生を対象にして、また、昨年まで行われてきた「自然科学分野」の講義に加えて、文科系の講義も開設され、同時並行して実施されることになりました。本年度の高大連携特別講義の講義の内容については、次ページにまとめて載せていますので、ご覧ください(連携通信第2号にも掲載)。

本年度の神戸大学の高大連携特別講義を受講希望する人は、次の説明をよく読んで、申し込んでください。申し込み締め切りは6月11日(金)です。

講義の内容については、昨年度までに実施した講義と同様のレベルで行われると考えられます。上級生など昨年までに受講した先輩などからの情報や、過去の連携通信既刊分をご覧ください。

### 神戸大学高大連携特別講義について

- ◇ 理系向き連携講義「自然科学通論」と文系向き連携講義「人文科学通論」が開設されます。
- ◇ 「自然科学通論」は8月9日から12日まで、講義は全12回(1日3講義)
- ◇ 「人文科学通論」は8月10日から13日まで、講義は全12回(1日3講義)
- ◇ 各講義の定員はそれぞれ60名、講義場所は神戸大学(六甲台国際文化部キャンパス)
- ◇ 兵庫県の高校2年生が全員が対象(今年から変更)
- ◇ ガイダンスを含む講義を、全講義すべて受講すること(特定の講義だけは不可)
- ◇ 神戸高校生として恥ずかしくないような受講生となること
- ◇ レポート等の提出を指示された場合、必ず提出すること
- ◇ 講義によっては、教科書、資料代などが必要な場合があります。
- ◇ 受講後に簡単なアンケートを取りますので必ず提出すること(神戸大学、神戸高校それぞれ)
- ◇ 「自然科学通論」と追加講義を全講義受講した場合、「現代自然科学通論」1単位として認定。

以上の事柄を理解の上、6月11日までに申し込み登録をしてください。

### 連携特別講義受講を「履修単位として認定する制度」が昨年度から始まっている!

昨年度から、神戸大学の高大連携特別講義と追加の特別講義<sup>1</sup>を数回を合わせて履修した場合、高校での公式の履修単位(現代自然科学通論1単位)として認定します(履修、修得単位として調査書に記載されるだけですが)。

なお、文系の「人文科学通論」についてはこの制度が適用されませんので、ご注意ください。

※ 過去2年分の「連携通信」全既刊分、本年度予定の講義内容の詳細がホームページ(<http://tachiro.hp.infoseek.co.jp/>)にあります。「連携通信」2002年度の発行分全33号、2003年度の発行分全44号(号外除く)全てをこのインターネットサイト上で見ることができます(PDFファイル)。YahooやGoogleなどの検索でキーワード「物理の小道」で検索して、リンクでも行けます。

1 昨年度は神戸大学医学部堀田先生による「ウイルス学入門」全4講義。今年度は神戸大学、大阪大学の各学部から4から5講義を予定しています。詳細は現在交渉中です。講義は土曜日または夕方に設定し、場所は神戸高校の予定です。

## 平成 16 年度 高大連携特別講義

### 受 講 申 込 書

神戸大学との高大連携特別講義の受講※を希望します。

受講コース 「自然科学通論（理系）」・「人文科学通論（文系）」  
(どちらかを丸で囲む)

- ◇ ガイダンスを含む講義を、全講義すべて受講すること（特定の講義だけは不可）
- ◇ 神戸高校生として恥ずかしくないような受講生となること
- ◇ レポート等の提出を指示された場合、必ず提出すること
- ◇ 講義によっては、教科書、資料代などが必要な場合があります。
- ◇ 受講後に簡単なアンケートを取りますので必ず提出すること（神戸大学、神戸高校それぞれ）
- ◇ 「自然科学通論」と追加講義を全講義受講した場合、「現代自然科学通論」1単位として認定。

平成 16 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番 生徒氏名 \_\_\_\_\_

保 護 者 \_\_\_\_\_ 印

※ 全県で募集しています。定員（60人）を超えた場合、受講できない場合がありますのでご了承ください。